

平成29年賀詞交換会

偕行社事務局

平成29年1月10日、偕行社は3階会議室で賀詞交換会を開催した。

国歌斉唱ののち、挨拶に立った富澤理事長は、冒頭、有名な高浜虚子の俳句「去年今年貫く棒の如きもの」を紹介して「我々にも貫く棒のようなものがあると思う」と述べ、「皆様それぞれに貫く棒のようなものをもとに、また新しい年の新しい目標を見つけて、その達成にご努力されることを心からお祈りしております」と結んだ。

続いて、来賓のご挨拶。
宇都隆史参議院議員は、昨年、戦没者の遺骨収集の推進に関する法律が制定されてその運用が始まったことを紹介し、「一日も早く、海外のご英霊を帰国して頂くような努力をして参りたいと思います」と決意を語られ、また、新年度防衛予算のほぼ目標達成に対する陸海空自衛隊関係者の労をねぎらいつつ、「今年からは、いよいよ31年以降の中期防大綱の見直しの議論も始まります。全力を尽くして参りますので、今年もどうぞご指導のほど宜しくお願い致します」と述べられた。

次に、日本郷友連盟寺島泰三会長は、

米国新政権への対応方法として、「浮動状況下の攻撃・防衛」、「不期遭遇戦」であると喝破し、「政治家の先生方も戦術・戦略を勉強して頂きたい」と来場者を笑わせた後、「力を合わせて、日本のために、憲法改正、そして国軍の創設に力を合わせていきたいと思えます」と抱負を語られた。

陸上自衛隊幹部学校校長深津孔陸将は、「現役制服自衛官と偕行社の絆を深めていかなければならないと思っています」「皆様の思い、ご経験を今後の人材育成にどんどん取り入れていければと思います」と述べられ、また、つばさ会吉田正会長は、「今年は変化の年、陸海空自衛隊そして我々OBの組織にとって素晴らしい変化でありま



すことを祈念致します」と話された。続いて、そのほかのご来賓の方々や法人賛助会員代表者の紹介、祝電の披露と続き、隊友会の先崎一理事長の音頭による乾杯を経て懇談に入った。

した。

小田原議員は、昨年8月の内閣改造において外務大臣政務官に就任したことを報告され、「基本を逸脱せず、しっかりと固めて参ります」「厳しい事案ばかり続きますが、支えて頂いている皆様の思いをしっかりと胸に刻んで働いて参ります」と述べられ、山谷議員は、「世界は乱世という装いを呈しております」と切り出され「大事な

のは、翻弄されずに一致団結して和の心を持つこと、そして寝ぼけていた平和主義から早く目覚めて自主防衛の力と世界の平和を創るために日本人としての誇りをもって歩み続けることだと思えます」と語られた。

また、偕行合唱団により「二月一日」及び「偕行百年」が披露され、尾崎良江さんの指揮で素晴らしい歌声が響き渡り、新年を寿ぐ雰囲気会場いっばいに広がった。
宴もたけなわとなり、恒例の軍歌演習は、偕行社の森繁弘評議員会議長の指揮で、「加藤隼戦闘隊」「陸軍士官学校校歌」「この国は」「陸上自衛隊幹部候補生学校校歌」を全員で合唱した。
最後に、水交会齋藤隆理事長の中心めで、和やかに終了した。
文中で紹介した来賓を除き、ご来場を頂いた来賓は次のとおりです。
(団体名は略称、順不同)

中谷真一衆議院議員秘書

玉木武彦氏

佐藤正久参議院議員秘書

廣瀬泰輔氏

陸幕監理部長 大塚裕治陸将補

陸幕総務部長 金古真一空将補

陸幕総務課長 青木 誠一佐

陸幕渉外班長 藤田尚樹一佐

第一師団長 西 浩徳陸将

中業支副隊長 藤原 修一佐

靖國神社権宮司 坂 明夫氏

特攻隊戦没者慰霊顕彰会副理事長 岩崎 茂氏

英霊にこたえる会運営委員長 富田定幸氏

千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会理事長 若松重英氏

大東亜戦争全戦没者慰霊団体協議会 専務理事 圓藤春喜氏

東郷会副会長兼理事長 田内 浩氏

防衛弘済会常務理事 岩田宗宏氏

自衛隊援護協会理事長 上瀧 守氏

防衛施設協会理事長 千田 彰氏

修親刊行事務局長 清道清二郎氏

史実を世界に発信する会事務局長 茂木弘道氏